



鶴田町長  
相川 正光

# 年頭にあたって

明けましておめでとうございませう。謹んで新年のお祝いを申し上げますとともに、町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

本年も、総合計画で掲げております「若い世代から選ばれるまちづくり」を目指し、皆さまの健康と幸せのため、町役場職員一同、心一つにして力を尽くしてまいります。

昨年を振り返ってみますと、不安定な世界情勢により、日本国内でのガソリン価格が過去10年間で最も高い水準で推移し、食料品や物資等の高騰に歯止めが掛からない状況が続いております。町といたしましては、家計の負担軽減を図るため、水道料金の一部減免を実施したほか、併せて、物価高騰への支援と町経済回復を図る施策として、商品券を給付いたしました。引き続き、皆さまの生活を守り、幸せを実感できるよう努めてまいります。

地球温暖化が進行している昨今、気候変動による極端な異常気

象により、災害が各地で頻発しております。当町でも一昨年の豪雨災害では、町民の安全を確保するため、避難勧告を発令いたしました。この緊迫した状況において、鶴田町消防団の迅速な水防活動が功を奏し、無事に乗り切ることが出来ました。この功績が評価され、昨年の9月には「令和5年防災功労者内閣総理大臣表彰」を受けております。今後も町民一人ひとりの防災意識をさらに高めつつ、災害に対する体制を強化してまいります。

次に町の基幹産業であります農業ですが、天候については、台風などの自然災害はなかったものの、いまだかつて経験したことのない連日の危険な猛暑により、思うような作業が出来ず、大変なご苦労があったものと拝察いたします。

コメについては、外食産業の回復により、在庫が減少する見込みであることから「つがるロマン」「はれわたたり」「まっしぐら」の3品種とも、前年度生産者概算金よりも1,500円の増加となり、

3年ぶりに1万円台に回復いたしました。また、東北農政局が取りまとめた青森県の作況指数が102で「やや良」とされ、1等米の比率は減少いたしました。津軽地方の10アールあたりの収量が全国1位となりました。

りんごについては、9月に入ってから、猛暑が続く、日焼けによる変色や自然落下などの高温障害の影響から、上実の数量が減少したことや高齢化及び担い手不足により、栽培面積が減少したため、市場では品薄状態となりました。青森県が発表した11月の産地価格の累計価格は、1kgあたり301円、前年対比125%と大幅な高値となっております。

町の特産品でありますスチューベンぶどうは、夏の猛暑と鳥の被害等の影響により、収量が減少いたしました。弘前中央青果が発表する11月末の市況により、高値で5kgあたり3,564円と前年同月比132%であったと公表されております。

各種農業分野において、昨年の成果につきましては、皆さまが一

生懸命に作業をしてこられました努力の賜であり、敬意を表する次第です。

今後も農業を取り巻く環境は、資材等の高騰や異常気象など、非常に厳しいものと認識しております。町といたしましては必要に応じて、皆さまに寄り添いながら、支援策を講じてまいります。

観光面では、観光名所であります鶴の舞橋について、昨年9月から本体の改修工事に着手しており、2ヶ月後の3月まで通行止めとなっております。橋からの景色を展望出来ず、残念な思いをさせておりますが、引き続き令和7年度まで改修工事が続きますので、この期間中の特別感を演出し、また訪れたいと思っただけのよう、イベント等を最大限活用しながら、さらに周知にも力を入れてまいります。

昨年4月には、県からのご支援の下、五所川原市より旧鶴田高校跡地に移転してくださいました、下山学園五所川原商業高等学校の新年度授業がスタートしております。町といたしましては、地域活

性化の契機と捉え、同校とともに、地域発展と人材育成を推進するための包括的連携協定を締結いたしました。また、昨年の10月には、フットリバー市にありますフドリパーバレー高校と姉妹校締結の橋渡しをいたしました。同校については、今年4月に下山学園高等学校に改名した上で普通科を新設し、フドリパーバレー高校との交流事業を活用しながら、英語力向上を図って行くと同校といたしております。これからの連携を深め、幅広い支援を熟慮断行してまいります。

結びに、小さな改革が町全体の大きな前進に繋がることを信じて、今年も邁進してまいりますので、町民の皆さまからの温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、新しい年が町民の皆さまにとりまして、幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。





鶴田町議会議員長

北谷 正則

# 新年を迎えて

明けましておめでとうございませう。令和6年の年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまには、健やかに希望あふれる新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町議会に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、長期化するロシアのウクライナ侵攻や円安などの影響で、食料品や燃料価格の高騰が続いており、皆さまの家計にも引き続き大きな負担となっているものと思えます。国においては、「供給力の強化」と物価高を乗り越える「国民への還元」の2つを車の両輪として、日本経済の新たなステージに向けた「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を策定し、新しい資本主義の実現に向けた取組を進めておりますので、持続的な賃上げの実現と物価高に対応した負担軽減措置を期待するところであります。

5月には、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類へ移行

され、感染拡大も落ち着きをみせたことから、町の各種イベントも開催できるようになり、町も徐々に活気を取り戻しつつある一年でありました。ただ今冬においては、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が懸念されており、今後感染予防対策として適時適切なワクチン接種の推進と冷え込んだ町内経済の回復を目指し、議会と町政が一体となって「誰もが住みよいまちづくり」の実現に向けて努力してまいります。

また、昨夏は記録的な猛暑となり、連日のように熱中症アラートが発せられるなど、厳しい暑さに見舞われました。当町においては大きな自然災害はなかったものの、近年頻発している集中豪雨や異常気象と呼ばれる自然災害に対する備えは常に万全を期す必要がありますので、議会としても、引き続き防災対策の強化に尽力してまいります。

町の基幹産業であります農業ですが、コメについては、もみ数が

の、7月以降の好天で登熟が順調に推移したことから、県全体の作況指数は102の「やや良」となり、収穫量は大雨被害で減少した前年に比べ増加する見込みとなっております。資材や肥料の価格高騰が続く中、外食産業による需要増加でコメの在庫は減少傾向にあることから、つがるにしきた農協におけるコメの生産者概算金は、「つがるロマン」「はれわたたり」が11,000円、「まっしぐら」が10,800円で、令和4年産米よりも1,500円の引上げとなり、3年ぶりの1万円越えとなっております。

リングゴについては、記録的な猛暑と小雨の影響で日焼けによる色の変化が多発し、加工用に戻る割合が多くなったものの、他県産や他の果物全体が品薄状態となったことから、県産リングゴは高値傾向で推移しているところです。

スチューベンについては、猛暑の影響で色付きが遅れ、収穫量も

農業の現場では、長年問題となっている少子高齢化や離農による担い手不足に加え、今後は地球温暖化に対応した作物の選定や栽培技術の確立が課題になると思われますので、国や関係機関の動向に注視しながら現場に即した対応を要望してまいります。

産業経済においては、町の観光名所「鶴の舞橋」の老朽化に伴う3箇年に渡る大規模改修工事が昨年からは始まり、工事期間中の9月から3月の間、「鶴の舞橋」が通行止めとなっております。観光客の減少が懸念される中、「鶴の舞橋まつり」イベントを初開催するなど新たな誘客対策の取組も見られますので、引き続き町の観光拠点としての役割を果たすよう期待しております。

教育においては、令和5年3月に閉校となった県立鶴田高校の跡地に同年4月から五所川原商業高校が移転してまいりました。鶴田高校が姉妹校として進めてきた米

の育成を図りながら、町のイベントに積極的に参加するなど、町活性化にもご尽力いただいているところであります。町内唯一の高校でありますので、今後も町と連携した教育環境の充実や町経済の振興に寄与するよう、議会としても必要に応じ協議しながら支援策の提言に努めてまいります。

町議会としては、デジタル化社会に対応すべくタブレット端末を利用したペーパーレスによる会議を推進し経費削減に努めるなど、住民の代表機関として議会改革に積極的に取り組んでおります。今後も、行政への監視機能の役割を十分発揮するとともに、町民の皆さまの意思を町政に反映させる重要な役割と責任を再認識し、議員一丸となって全力を尽くしてまいります。

結びにあたり、本年が町民の皆さまにとりまして健やかで実り多い年でありませうとお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。